

パフォーマンス ARICA Presents  
終わるときがきた — ベケット『ロッカバイ』再訪

演出 | 藤田康城 (ARICA)  
出演 | 安藤朋子 (ARICA)  
映像 | 越田乃梨子

テキスト協力 | 倉石信乃 (ARICA・明治大学)  
音響協力 | 福岡ユタカ (ARICA)  
トーク | 森山直人 (京都造形芸術大学)、藤田康城、倉石信乃

# 表象 文化論 学会

第14回大会

APOCALYPSE

シンポジウム  
アポカリプスの表象 / 表象のアポカリプス

郷原佳以 (東京大学)  
栗山智成 (京都大学)  
中尾麻伊香 (長崎大学)  
吉本光宏 (早稲田大学)  
司会 | 木下千花 (京都大学)  
コメンテーター | 岡田温司 (京都大学)

# 表象 文化論 学会

第14回大会

THE ASSOCIATION  
FOR STUDIES OF  
CULTURE AND REPRESENTATION

THE ASSOCIATION  
FOR STUDIES OF  
CULTURE AND REPRESENTATION

2019.7.6 sat — 7 sun

京都大学 (吉田キャンパス)

2019.7.6 sat — 7 sun

京都大学 (吉田キャンパス)

## 7.6<sup>〔土〕</sup>

場所 | 京都大学 吉田キャンパス

会費 | 6日は無料、7日は非会員のみ1,000円   ※事前予約不要

## 13:30-16:15 シンポジウム

# アポカリプスの表象／ 表象のアポカリプス

場所 | 稲盛ホール（芝蘭会館本館内2階）

郷原佳以（東京大学）

栞山智成（京都大学）

中尾麻伊香（長崎大学）

吉本光宏（早稲田大学）

司会 | 木下千花（京都大学）

コメンテーター | 岡田温司（京都大学）

## 16:45-18:15 パフォーマンス

# ARICA Presents

## 『終わるときがきた』

### ―ベケット『ロッカバイ』再訪―

場所 | 稲盛ホール（芝蘭会館本館内2階）

演出 | 藤田康城（ARICA）

出演 | 安藤朋子（ARICA）

映像 | 越田乃梨子

テキスト協力 | 倉石信乃（ARICA・明治大学）

音響協力 | 福岡ユタカ（ARICA）

トーク | 森山直人（京都造形芸術大学）、藤田康城、倉石信乃

## 19:00-21:00

学会賞授賞式および懇親会（会員および同伴者のみ）

場所 | レストラン・ラ・トゥール（京都大学時計台記念館内1階）

## 7.7<sup>〔日〕</sup>

場所 | 京都大学 吉田キャンパス

会費 | 会員：無料   非会員：1,000円   ※事前予約不要

## 10:00-12:00 研究発表

パネル | **01** 1B05

## 「現代映画」における メEDIUMの横断／混交 ――文学・演劇とのかかわりから

映画空間における発話

――オーソン・ウェルズ『マクベス』における演劇のアダプテーション再考

三浦翔（批評／映画監督）

ストローブ＝ユイレ『アンティゴネー』における演劇性について  
行田洋斗（京都大学／日本学術振興会）

トリュフォーの創造行為にみる言葉と映像

原田麻衣（京都大学）

コメンテーター | 中村秀之（立教大学）   司会 | 原田麻衣（京都大学）

パネル | **02** 1102

## ベルリン、大都市のポリフォニー ――群衆の夢／個の記憶

ベルリン・オペレッタの変容

――行進曲からレビュー・オペレッタ、古典のパロディへ

小川佐和子（北海道大学）

モティーフから音響へ

――1920年代のドイツにおける「オリジナル作曲」の変遷

白井史人（名古屋外国語大学）

「カワウソのもとがわたしの家だった」

――ヴァルター・ベンヤミン『1900年ごろのベルリンの幼年時代』における、「住む」こと

田邊恵子（早稲田大学）

コメンテーター | 海老根剛（大阪市立大学）   司会 | 香川檀（武蔵大学）

パネル | **03** 1B06

## 芸術の教育：戦前・68年・21世紀

教育モデルとしてのラボラトリー：

1930年代アメリカにおけるデザイン教育改革を事例として  
印牧岳彦（東京大学）

社会主義都市のシュルレアリスム：

建築設計教育におけるアルド・ロッシの<sup>プロセデ</sup>〈手法〉

片桐悠自（東京理科大学）

芸術論と教育論が出会うとき――ランシエルとその受容者とのあいだで  
鈴木亘（東京大学）

コメンテーター | 鯖江秀樹（京都精華大学）   司会 | 池野絢子（京都造形芸術大学）

## 12:00-12:30

総会（会員のみ）

場所 | 1102

## 13:30-15:30 研究発表

場所 | 総合人間学部棟  
パネル | **04** 1B06

## Capturing Affects in Contemporary Japanese Media: Gendering Death, Politicizing the Personal, and Caregiving the Aged

Dying Young: The Gendering of Mortality and Mourning  
in *Kira Kira Seishun Eiga*  
Yutaka Kubo（Waseda University）

Okinawan Dream Show: Toward an Affective Critique  
of Takamine Gō's Essay Films  
Ma Ran（Nagoya University）

Time Recurrence Through Opening Spaces of Sharing:  
Some Practical Functions of Art in Japan's Aging Society  
Yoshinobu Tsunoo（University of Tokyo）

コメンテーター | Mitsuyo Wada-Marciano（Kyoto University）

司会 | Yutaka Kubo（Waseda University）

パネル | **05** 1102

## アガンベンをどう読むか ――言語・スペクタクル・抵抗

「言語活動の根拠」をめぐる

――アガンベンとハイデガー

中村魁（京都大学）

ジョルジョ・アガンベンにおけるスペクタクル概念の展開

長島皓平（慶應義塾大学）

アガンベンと抵抗

高桑和巳（慶應義塾大学）

コメンテーター | 國分功一郎（東京工業大学）   司会 | 高桑和巳（慶應義塾大学）

パネル | **06** 1B05

## Ut architectura poesis: 建築の文法と修辞学

建築史の視覚的記述

――その支持体と配置、そして解体

小澤京子（和洋女子大学）

ダンテウム再読：話者のみえない『神曲』として

北川佳子（FLOT/S   建築設計事務所）

皇帝の署名：バルセロナ・パヴィリオンの修辞学

後藤武（株式会社 後藤武建築設計事務所）

コメンテーター | 桑木野幸司（大阪大学）   司会 | 戸田穠（金沢工業大学）

## 16:00-18:00 研究発表

場所 | 総合人間学部棟  
パネル | **07** 1B05

## 映像と怪奇のゆくえ

中田秀夫の映像作品におけるナルシズム

宮本法明（京都大学）

『空海-KU-KAI-美しき王妃の謎』をめぐる日中比較的化け猫考  
胡言（京都大学）

ホラー映画の認知主義的分析

――ジェームズ・ワン監督作品における恐怖の詩学

西川秀伸（立命館大学）

コメンテーター | 増田展大（立命館大学）

司会 | 福田安佐子（国際ファッション専門職大学）

パネル | **08** 1B06

## 〈演じる〉ことをめぐって ――シェイクスピアとその演技の諸相

『トロイラスとクレシダ』における自己と演技性

園部耀（京都大学）

演劇言語が演技にもたらす影響について

――ミュージカル『キス・ミー・ケイト』を例に

康関哲（京都大学）

福田恆存とシェイクスピア――〈せりふ〉としての日本語を求めて  
中谷森（京都大学）

コメンテーター | 小嶋ちひろ（名古屋外国語大学）   司会 | 中谷森（京都大学）

パネル | **09** 1102

## 音の境界

堀浩哉によるメディアを用いた1970年代の初期作品

――演劇との関わりから

金子智太郎（東京藝術大学）

オルタナティブ・ミニマリズム

――ジュリアス・イーストマンの音楽語法

高橋智子

ネガティブ・ミュージック

――デーヴィッド・チュードアにおける沈黙の仮想性／極性

中井悠（京都市立芸術大学）

コメンテーター | 城一裕（九州大学）   司会 | 金子智太郎（東京藝術大学）

\*プログラムは予告なく変更されることがあります。詳細及び最新情報は表象文化論学会ホームページ（http://www.repre.org/）をご覧ください。

問い合わせ先 | 表象文化論学会第14回大会実行委員会

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学総合文化研究科表象文化論研究室内

FAX 03-5454-4336   E-mail conference@repre.org

URL http://www.repre.org/